



トランスフォーメーションパターンの設定

- [変換パターンの概要, 1 ページ](#)
- [トランスフォーメーションパターンの設定タスクフロー, 1 ページ](#)

変換パターンの概要

トランスフォーメーションパターンは、着信コールまたは発信コールでダイヤルされた番号をどのように処理するかを決定します。発信者番号または着信者番号を変更する必要があるとき、システムが電話機またはPSTNに送信する前にトランスフォーメーションパターンを設定できます。

トランスフォーメーションパターンを使用して、数字を廃棄したり、プレフィックスを付けたり、発信側の変換マスクを追加したり、発信側番号のプレゼンテーションを制御したりできます。

次の操作を実行できます。

- 着信側トランスフォーメーションCSSが指定された発信側トランスフォーメーションパターンをヒットします。
- 発信側トランスフォーメーションCSSが指定された着信側トランスフォーメーションパターンをヒットします。

トランスフォーメーションパターンの設定タスクフロー

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	発信側トランスフォーメーションパターンの設定, (2 ページ)	この手順を使用して、発信者番号を変換します。たとえば、PSTN にコールするときに発信者の内線番号とオフィスの代表番号を置き換えるトランスフォーメーションパターンを設定できます。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 2	着信側トランスフォーメーションパターンの設定, (3 ページ)	この手順を使用して、着信者番号を変換します。たとえば、10桁の番号でダイヤルされたコールの最後の5桁のみを保持するトランスフォーメーションパターンを設定できます。
ステップ 3	トランスフォーメーションプロファイルの設定, (3 ページ)	これはオプションです。Cisco Intercompany Media Engine (Cisco IME) を使用している場合にのみ、この手順を実行します。ダイヤルされた番号を E.164 形式に変換するには、トランスフォーメーションプロファイルを設定する必要があります。

発信側トランスフォーメーションパターンの設定

この手順を使用して、発信者番号を変換します。たとえば、PSTNで発信するとき、発信者の内線番号をオフィスの代表番号に置き換えるトランスフォーメーションパターンを設定できます。

手順

ステップ 1 Cisco Unified CM の管理で、[コールルーティング (Call Routing)] > [トランスフォーメーション (Transformation)] > [トランスフォーメーションパターン (Transformation Pattern)] > [発信側トランスフォーメーションパターン (Calling Party Transformation Pattern)] を選択します。

ステップ 2 次のいずれかのオプションを選択します。

- 新しい発信側トランスフォーメーションパターンを追加するには、[新規追加 (Add New)] ボタンをクリックします。
- 既存の発信側トランスフォーメーションパターンの設定を変更するには、検索条件を入力し、[検索 (Find)] をクリックし、結果リストからパターンを選択します。

[発信側トランスフォーメーションパターンの設定 (Calling Party Transformation Pattern Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 3 [発信側トランスフォーメーションパターンの設定 (Calling Party Transformation Pattern Configuration)] ウィンドウで各フィールドを設定します。フィールドとその設定オプションの詳細については、オンラインヘルプを参照してください。

ステップ 4 [保存 (Save)] をクリックします。

次の作業

[着信側トランスフォーメーションパターンの設定, \(3 ページ\)](#)

着信側トランスフォーメーションパターンの設定

着信者番号を変換するには、次の手順を使用します。たとえば、10桁の数字としてダイヤルしたコールの最後の5桁のみ保持するトランスフォーメーションパターンを設定できます。

はじめる前に

[発信側トランスフォーメーションパターンの設定, \(2 ページ\)](#)

手順

ステップ 1 [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified Communications Manager Administration)] で、[コールルーティング (Call Routing)] > [トランスフォーメーション (Transformation)] > [トランスフォーメーションパターン (Transformation Pattern)] > [着信側トランスフォーメーションパターン (Called Party Transformation Pattern)] を選択します。

ステップ 2 次のいずれかのオプションを選択します。

- 新しい着信側トランスフォーメーションパターンを追加するには、[新規追加 (Add New)] ボタンをクリックします。
- 既存の着信側トランスフォーメーションパターンを変更するには、検索条件を入力して [検索 (Find)] をクリックし、結果のリストから既存のユーザを選択します。

[着信側トランスフォーメーションパターンの設定 (Called Party Transformation Pattern Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 3 [着信側トランスフォーメーションパターンの設定 (Called Party Transformation Pattern Configuration)] ウィンドウの各フィールドを設定します。フィールドとその設定オプションの詳細については、オンラインヘルプを参照してください。

ステップ 4 [保存 (Save)] をクリックします。

次の作業

これはオプションです。 [トランスフォーメーションプロファイルの設定, \(3 ページ\)](#)

トランスフォーメーションプロファイルの設定

Cisco Intercompany Media Engine (Cisco IME) を使用している場合にのみ、この手順を実行します。ダイヤルされた番号を E.164 形式に変換するには、トランスフォーメーションプロファイルを設定する必要があります。E.164 形式では、国際対応の「+」が先頭につきます。たとえば、「+14085551212」です。

手順

-
- ステップ 1** Cisco Unified CM の管理で、[コールルーティング (Call Routing)] > [トランスフォーメーション (Transformation)] > [トランスフォーメーションプロファイル (Transformation Profile)] を選択します。
- ステップ 2** 次のいずれかのオプションを選択します。
- 新しいトランスフォーメーションプロファイルを追加するには、[新規追加 (Add New)] ボタンをクリックします。
 - 既存のトランスフォーメーションプロファイルの設定を変更するには、検索条件を入力して [検索 (Find)] をクリックし、検索結果の一覧からパターンを選択します。
- [トランスフォーメーションプロファイルの設定 (Transformation Profile Configuration)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 3** [トランスフォーメーションプロファイルの設定 (Transformation Profile Configuration)] ウィンドウで各フィールドを設定します。フィールドとその設定オプションの詳細については、オンラインヘルプを参照してください。
- ステップ 4** [保存 (Save)] をクリックします。
-